

いにしはつづく

流にくが終ると

カフとひろげ 手でふとくとととくと

やや ひとととと

そこで 平す 同か通る

終った 身持いいのけ

いう 子で だ、 だか

ある 白 流にく 枝 か果に

いろん 房 流にく 枝 か いるお

一般に 平す 二とが 9こう てりる

あらしあり 加々ん の 下着水

作とく つりてい

大あせで ぬれてしすうた

とりがえろれろれ

うちわで ああぐ

あしでも わあかしをい

そわが二日 つがのた

霽浄な ありさと思う

改在 朝の 去時

あま 田時 街で へル だーし か 来る

それまでが手ん

河が出るとしていいんがそれと始まっている

その下のカタリも同じように

始まっている

水と土のあそび

水のせうが大きいところ

とりと行くのが土仕事

いつか取りと行つてい

今日も出る

今朝はきん肉葬  
あつていゝ予定だ

2024  
7/6